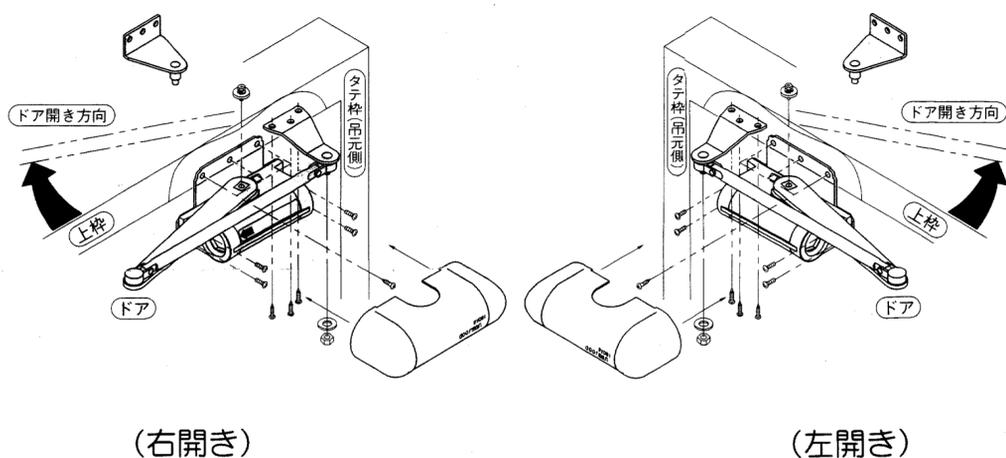


このたびはリョービドアマンをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。リョービドアマンを正しくお使いいただくために、本取付説明書を十分にお読みになり、お取付けくださるようお願い申し上げます。

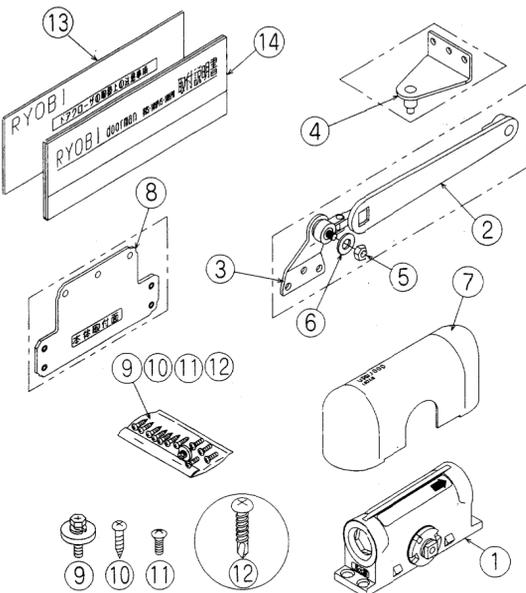
取付け作業に入る前に

- 必ず取付説明書を1から順にお読みになり、取付けを行ってください。
- 本製品はドア開き方向の左右開きは共用です。(1 4を参照ください。)
- 本製品はストップ付きです。(ストップなしにはできません。)
- ドアマンを取付けた後は、ドアを開くとき重く感じられます。(軽くすることはできません。)
- 本体の軸(4の図を参照ください)は、ドアに取付ける前に回転させないでください。

1 全体組立図



2 部品名称



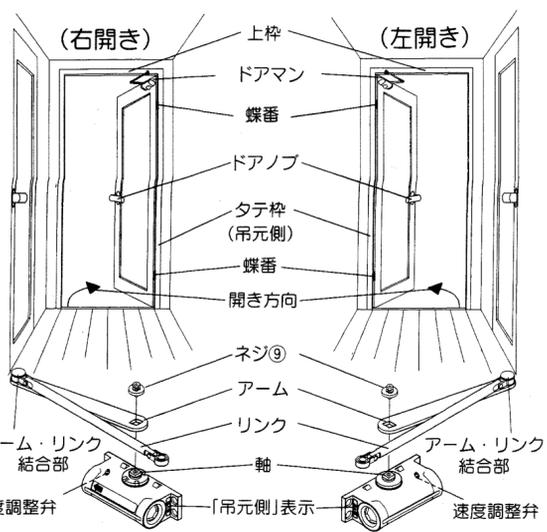
No.	部品名称	員数
①	本体	1
②	アーム・リンク(連結品)	1
③	D型ブラケット	1
④	L型ブラケット(型式S-101Pには梱包されていません)	1
⑤	ブラケット・リンク結合用ナット	1
⑥	ブラケット・リンク結合用ワッシャ	1
⑦	カバー	1
⑧	取付板	1
⑨	本体・アーム結合用ネジ	1
⑩	取付板・ブラケット取付用ネジ	6
⑪	本体・取付板取付用ネジ	4
⑫	下穴加工ネジ	1
⑬	取扱説明書	1
⑭	取付説明書及び型紙	1

3 取付けに必要な工具



4 ドアの開き方向の確認

扉を押し開く側に立って確認してください。

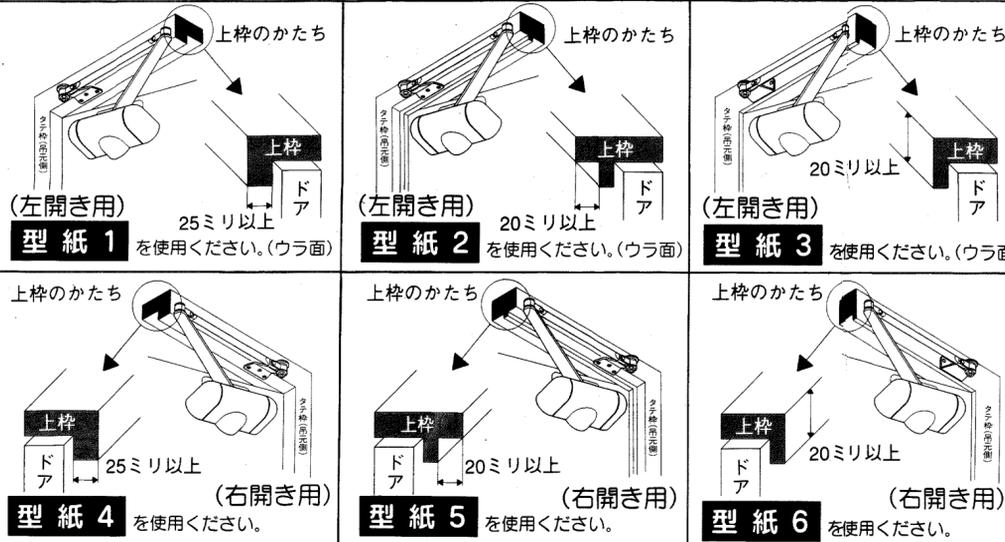


5 取付型紙の選択と使用方法

(1) はじめにドアの開き方向(4参照)をお確かめの上、下図の上段(左開き用)または下段(右開き用)を決めてください。次にドアの上枠のかたちをお確かめの上、各段の3つの図の中からあてはまるものを1つお選びください。図に記された型紙1～型紙6を使用します。

注意 型紙3 型紙6 の場合L型ブラケットを使用します。必要な場合はお買い求めの販売店にお申し出ください。

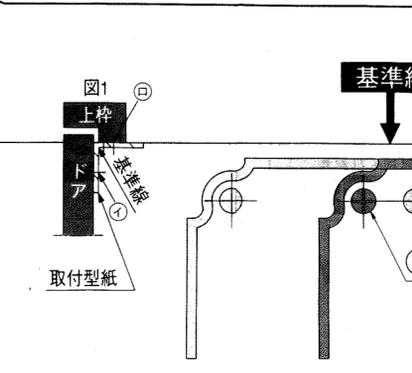
(2) 選んだ型紙1～型紙6の1つを右面とそのウラ面にある取付型紙の中からキリトリ線にしたがって切り取ってください。ウラ面につく



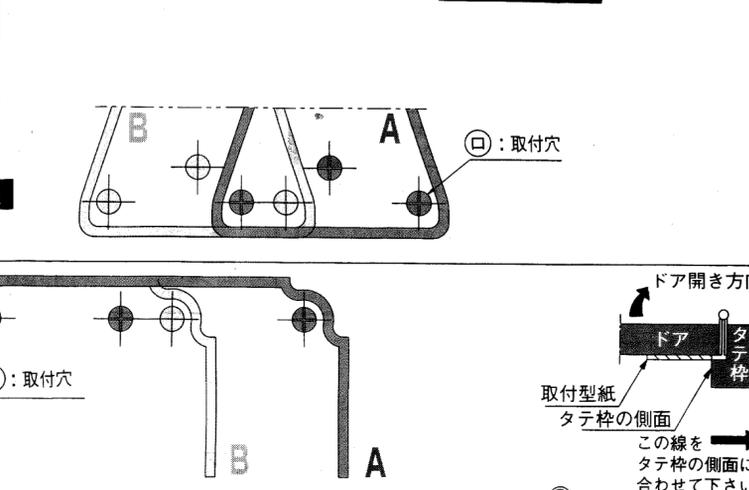
取付型紙(右開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板とブラケットの取付穴位置① ②を決めてください。下図1参照
A、Bの選択は取付説明書⑥⑦を参照ください。



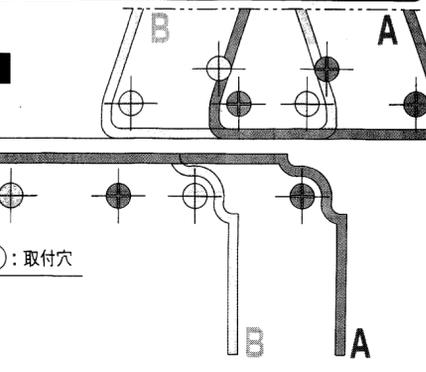
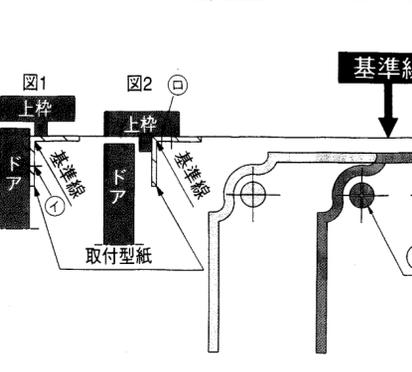
型紙4 (右開き用)



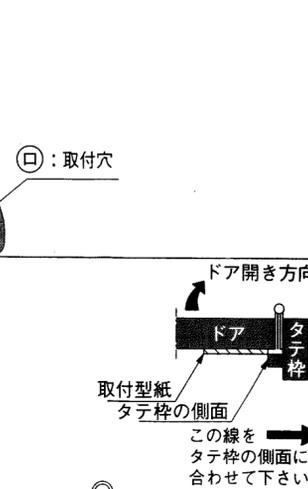
取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。下図1参照
A、Bの選択は取付説明書⑥⑦を参照ください。

2. 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。下図2参照
注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。



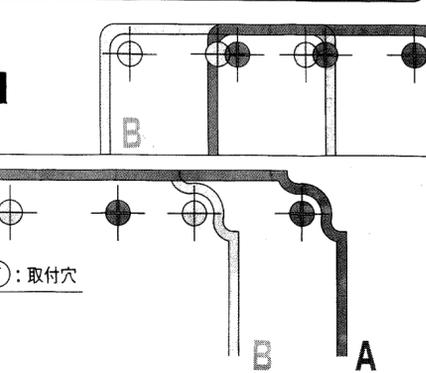
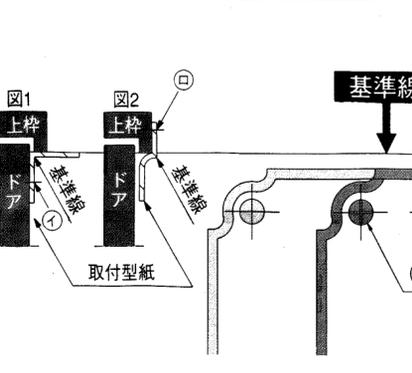
型紙5 (右開き用)



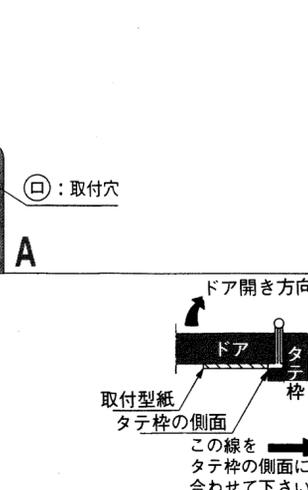
取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。下図1参照
A、Bの選択は取付説明書⑥⑦を参照ください。

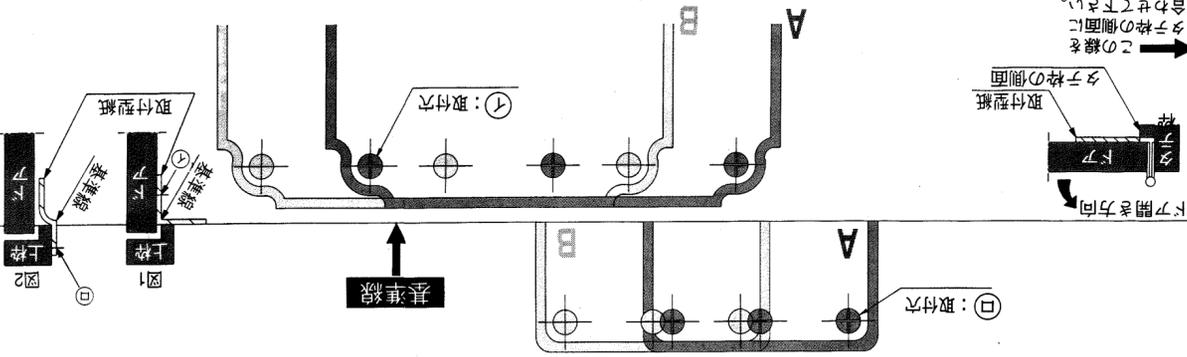
2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。下図2参照
注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。



型紙6 (右開き用)



ドア側
上枠側
ドア側
上枠側
ドア側
上枠側
ドア側
上枠側



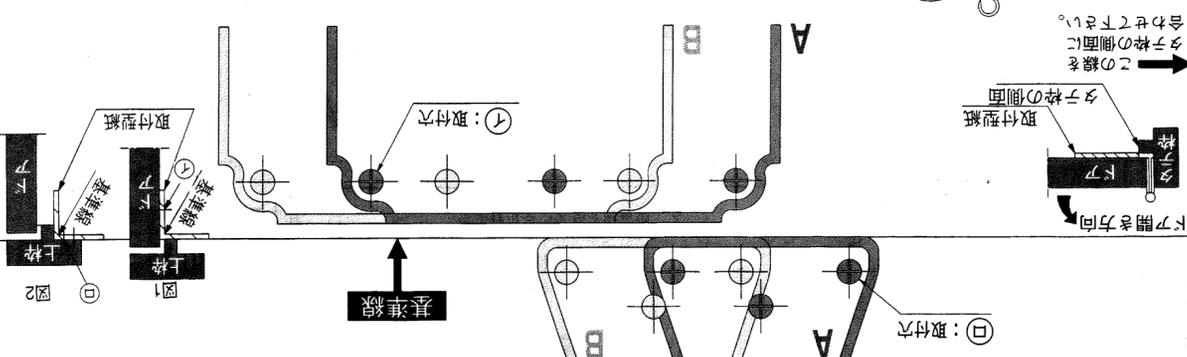
型紙3 (左開き用)

取付位置決め順序

- 基準線を直角に谷折りにし、上枠側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付位置①を決めてください。
- 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付位置②を決めてください。

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。下図2参照

A・Bの選択は取付説明書をご覧ください。



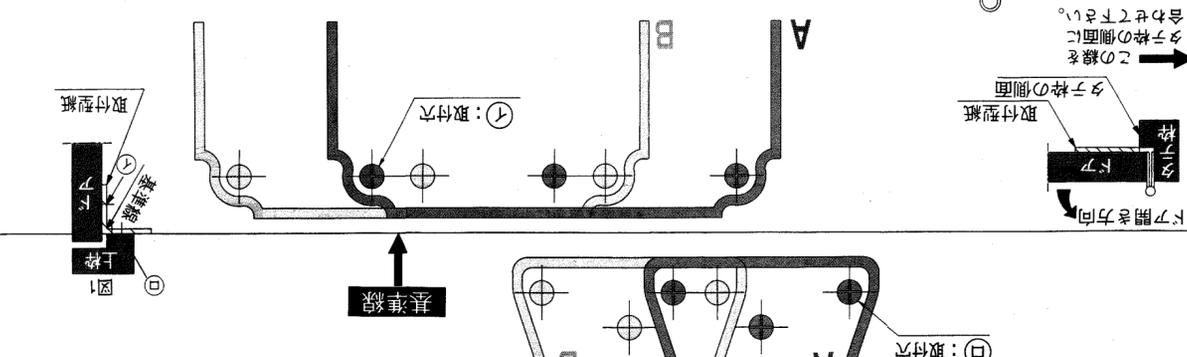
型紙2 (左開き用)

取付位置決め順序

- 基準線を直角に谷折りにし、上枠側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付位置①を決めてください。
- 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付位置②を決めてください。

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。下図2参照

A・Bの選択は取付説明書をご覧ください。



型紙1 (左開き用)

取付位置決め順序

- 基準線を直角に谷折りにし、上枠側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付位置①を決めてください。
- 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付位置②を決めてください。

注意 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。下図1参照

A・Bの選択は取付説明書をご覧ください。

型紙貼り付け位置
取付方法は下記参照
上枠(吊元側)
型紙貼付位置
取付方法は下記参照
上枠(吊元側)
型紙貼付位置
取付方法は下記参照

6 取付順序 (以下の説明は左開きで記してあります。)

1 取付型紙の取付位置 A・B の決定

取付型紙にはAとBの2種類の位置が記されています。以下に従いどちらかを決定してください。

- ・ドアを開く方向に壁や戸当たりがあり約90°までしか開けない場合次の2つの寸法を測ってください。
- ドアの厚さ**
- 蝶番の出寸法**：蝶番中心から扉側面までの距離(図参照)
- ・2つの合計が52ミリ以下の場合、Bの位置を使用してください。

注意 上記の場合でAの位置をご使用されるとストップ装置が動作しません。

・上記以外の場合(2つの合計が52ミリ以上または90°以上扉が開ける場合)、Aの位置を使用してください。

2 取付穴の加工

セロハンテープで取付型紙を固定し、本体取付穴、ブラケット取付穴の順に加工します。

決定した取付穴に下穴加工ネジ②を取付型紙の上から最後までねじ込んでください。ねじ込んだ後、下穴加工ネジ②を外し、他の穴にも同様にねじ込んでください。穴加工後は取付型紙を外してください。

注意 下穴加工ネジは外すとき非常に熱くなります。直接手で触れるとやけどしますのでご注意ください。木くずが目に入らないようご注意ください。

下穴加工ネジの代わりにドリルを使用される場合はφ3.8ミリをご確認ください。

3 アーム・リンク②とブラケット③の取外し

ナット⑤とワッシャ⑥を取外し、アーム・リンク②からブラケット③を取外します。

注意 ナットとワッシャは後で使いますので紛失しないようご注意ください。

4 ブラケット③(④)と取付板⑧の取付け

ブラケット③(④)と取付板⑧を取付けます。取付板はウラとオモテを確認してください。取付後は「本体取付面」の文字が見えます。

注意 ドアの厚さ28ミリ以下の場合にはドアの厚さに合わせた短い取付木ネジを別途準備してください。

5 本体①とアームの組立

本体の軸にアームをかけるはめ合わせ後、本体・アーム結合用ネジ⑨を取付け、8ミリスパナ等で緩みがないようにねじ込んでください。

注意 左右開きで組立が異なります。アームリンク結合部と速度調整ネジを同じ方向へ向けてください。アームは本体の軸に奥まで完全に入りません。ネジを締めつけることで固定されます。

6 本体①取付

ドアを開いて取付板に本体①を取付けます。本体の速度調整ネジ面をドアノブ側へ向けてください。

7 ブラケット③(④)とリンク②の結合

ドアを閉じた状態でアームを手前に引きながらリンクをブラケットに差込み、ブラケット・リンク結合用ワッシャ⑥とナット⑤で固定します。

注意 必ずドアを閉じた状態で行ってください。アームを手前に引くにはかなりの力が必要です。アームを手前に引かないと結合できません。手前に強く引いても動かない場合、本体とアームの組立が間違っていることが考えられます。本体を取り外し④の作業を再度確認してください。

8 閉じ速度の調整

工場出荷の際適正スピードにセットしてありますが左図の速度調整ネジを、次のように操作すると速度の調整ができます。

右(時計の方向)にまわすと閉じ速度は遅くなります。
左(時計と反対の方向)にまわすと閉じ速度は速くなります。

注意 速度調整ネジは2回転以上左(時計と反対の方向)には絶対にまわさないでください。まわしすぎると油がモシモシ。四季の温度変化によりドアの閉じ速度は変化することがあります。

9 カバー⑦のはめ込み

カバー⑦をはめ込みます。

以上で取付けは終了です。

7 ストップ機能について

・ドアを約85°(※)あけるとストップ装置が働き、任意の角度(85°~180°)でドアの開放維持ができます。*ストップ開始角度約85°は蝶番の出寸法(図1参照)により差があります。

・ドアを閉める場合は、約85°の位置までもどせば後は自動的に閉まります。

注意 ストップの開始角度は変更できません。

ドアマンについてのQ&A

症状	原因	対策
ドアマンを取付け後に...		
ドアが急にパタンと閉まる。	・速度調整ネジが開いている。 ・本体から油が漏れている。	・⑧の速度調整方法に沿って速度調整ネジを右(時計の方向)にまわし調整してください。 ・最寄りの販売店、弊社営業所に連絡ください。
本体から音がする。	・本体とアーム結合用ネジが緩んでいる。	・再度ネジを締めつけてください。締めつけ後も音が直らない場合はアームの交換が必要です。(本体内部より多少音がする事がありますが、故障ではありません。)
ドアが閉まらない。	・速度調整ネジが閉じている。 ・取付方法に誤りがある。 ・ドアが枠、床等に接触している。	・⑧の閉じ速度調整方法に沿って速度調整ネジを左(時計と反対の方向)にまわし調整してください。 ・取付順序⑤~⑦をご参照の上、再度確認してください。 ・最寄りの工務店、建具店にご相談してください。